2022年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースベース専攻											
専攻実技4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	満園庄太郎			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
各人の個性を伸ばす実技レッスンです。											
到達目標											
ベーシストとして必要な基礎的なフィンガー、ピック、スラップ奏法とフィンガリングを習得する。所有楽器とアンプ等機材の構造とメンテナンス方法を知り、理想の音色を奏でることができる。リードシートのコードネーム、音符、進行等の情報を瞬時に把握し、それらをもとに的確なベースライン作りができる。音源制作、アンサンブル時に、最良のクオリティーになるよう、ふさわしい態度でのぞむことができる。											
授業方法											
楽器のチューニング、ウォーミングアップ等の準備をしたうえで、練習フレーズでのスキルアップ、読譜による既存ベースラインの習得と初見演奏の訓練、リードシートを見てオリジナルのベースライン作り等をおこなう。授業外で作成した自作曲のブラッシュアップ（マイプロジェクト）、ショーケースでの演奏曲のアドバイス、サポート演奏曲のアドバイスもおこなう。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
講師作成のリードシート、課題曲のリードシート。											
回数	授業計画										
第1回	講師指定のコード進行でウォーキングラインを作る。										
第2回	イーブン16ビートの様々なパターンでリズムトレーニング。										
第3回	16ビートシャッフルの様々なパターンでリズムトレーニング。										

専攻実技4

第4回	難易度の高いスケール（hmp5↓、オルタード等）の習得。
第5回	ジャズ系コード進行のリードシートからベースラインを作る、その1。ルートを中心としたアプローチ。
第6回	ジャズ系コード進行のリードシートからベースラインを作る、その2。スケールを活用したアプローチ。
第7回	授業内理解度チェック。
第8回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその3。
第9回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその4。
第10回	循環コードにおけるアドリブ演奏によるベースソロ。
第11回	レコーディング実習その1。奏法の違いによるアプローチ。
第12回	レコーディング実習その2。ニュアンスを重視したアプローチ。
第13回	レコーディング実習における各自の問題点の修正。
第14回	授業内発表。
第15回	後期のまとめ。